

まもる一む福岡の「交流・活動の支援」をお伝えする

# 環境活動 NEWS 3号

福岡市保健環境学習室「まもる一む福岡」では、NPOや市民団体などによる環境活動を応援するために交流やネットワークの場づくり、情報発信など4つの取り組みを行なっています。環境活動に関心のある皆さん、活動に取り組むNPO等の皆さん、ぜひお気軽にご相談・ご参加ください。

## 4つの取り組み

ふくおか環境連絡交流会  
ふくおか環境活動発表会

特別講座  
生きものと私たちのくらしトーク・カフェ

市民参加型調査  
「ふくおかエコリサーチ」

情報の収集・発信

会場+オンライン

ハイブリッド開催

を行っています

## 第3号の目次

- 特別講座  
「虫の口と食べもの」
- 第8回  
ふくおか環境連絡交流会
- 第1回トーク・カフェ  
「自然の中であそぶことの大切さ~“安心感”と自立」
- 特別講座  
「身近な秋を見つけよう」
- ふくおかエコリサーチ  
「カナブン?コガネムシ?どっち調査」



会場とオンラインみんなでトークタイム

新型コロナウイルスの影響で、今年度はイベントの定員を縮小して開催しています。そのような中でも、より多くの方に参加してもらえるように、会場参加とオンライン参加を合わせた「ハイブリッド開催」を一部イベントで行っています。音響機器を導入し、会場の方とオンラインの方が直接やりとりすることもできます。オンラインの方にもできるだけリラックスしてもらえるような雰囲気づくりを工夫しています。



スライドや会場の様子、音声もオンラインで共有します。お互いの顔を見ながらお話できます!

## 特別講座「虫の口と食べもの」(2020年8月9日)

生きた虫たちの口元をデジタル顕微鏡で観察してみました。身近でよく知っている虫でもスクリーンに大きく映して観察してみると意外な表情をしていましたよ。草を食べたり、花の蜜や樹液を吸ったり、他の昆虫を食べたり。食べているものによって虫たちの口の形には色々なタイプがあることがわかりました!

鋭いアゴをもつ肉食のナミハンミョウ



長〜い顔の  
ショウリョウバッタ!



この日集まった参加者は、虫が大好きな子ども達!  
葉っぱを食べるアオドウガネや、落ち葉などを食べるダンゴムシ、他の虫を襲って食べるナミハンミョウなどがアップでスクリーンに映し出されると、「わ〜すごい!」「かっこいい〜」と大盛り上がり。口以外にも、イネ科などの葉を食べるショウリョウバッタのフンを水でふやかして観察してみたところ、葉っぱの欠片が! 口をもしゃもしゃ動かして、小さく刻んで食べていたんですね。フンをしばらく観察していると、参加者から「なんか小さいのが動いた!」という声。昆虫のフンの中にさらに小さな生きものがいる?! ミクロな世界の新たな謎にみんなで出会うことができました。終了後、持参した虫をお互いに見せ合う姿も見られ、虫大好きな子ども達同士、交流を楽しんでいる様子でした!

ショウリョウバッタのフンをふやかしたもの!



おちよぼ口のダンゴムシ

ふくおか環境連絡交流会

ハイブリッド開催

## 「環境活動と新型コロナウイルス感染症」(2020年8月30日)

新型コロナウイルス感染症の流行下、環境活動団体の方々はどうな取り組みをされていたのか、また、今後どのような計画・対策を立てているのか、2団体に発表していただいた後、参加者全員で意見交換を行いました。

### NPO法人 かいろう基山

団体の日頃の活動や自粛中の様子をお話いただきました。緊急事態宣言後、メンバーとこれからの活動をどうするかについて意見交換をし、マスクや三密を避ける等の感染対策を取りながら、主に農家のための竹チップ作りをする活動のみ続けられたそうです。一般参加を募るイベントは一時中止したのち、地域を絞って募集する等、工夫しながら徐々に再開しているところだそうです。



松原 幸孝さん

### 福岡県自然観察指導員連絡協議会 日本野鳥の会 福岡支部

2つの団体に所属する田村さんから、それぞれの活動についてお話いただきました。感染予防対策や運営の工夫に関する事、スタッフが事前に準備しておくこと、開催中・開催後に気をつけることなどがまとめられた「コロナ禍における自然観察会の手引き(ガイドライン)」を紹介いただきました。野鳥の会では定例探鳥会を全て中止し、野鳥の記録のみ担当で続けていましたが、自粛解除後は密にならない工夫の元で一部を再開されたそうです。



田村 耕作さん



お二方の発表後、質問やご意見を会場とオンラインから集めました。「直前に泣く泣く中止を決めた」「対策した上で細々とでも活動を継続することが大切」「オンライン観察会という新たな試みを始めたが、とても手応えを感じている」など、様々な団体の状況をお聞きすることができました。「これさえやっておけば大丈夫!」という対策はありませんが、こんな風に環境活動をする者同士が情報交換したり、相談しあえるのは大変心強く感じました。

第1回生きものと私たちのくらしトーク・カフェ

ハイブリッド開催

「自然の中であそぶことの大切さ～"安心感"と自立」(2020年10月18日)

今年度、第1回目となる「生きものと私たちのくらしトーク・カフェ」を開催しました。トーク・カフェとは生物多様性に興味がある方が集まり、一緒に学び、交流するイベントです。臨床心理士でスクールカウンセラーとしてご活躍の吉村春生さんをお招きし、子ども時代に自然の中で遊ぶことの大切さについてお話いただきました。



吉村 春生さん

子どもはなぜ遊ぶ?

もっと探求したい、もっと知りたい、いろいろな意味が子どもの遊びには表現されています。自然の中は遊びの宝庫。遊びは子どもの心の健康に大事な役割をもっているそうです。

飛行機が上がったり下がったり

吉村さんは、子どもの心を飛行機に見立ててお話されました。「甘える」ことが将来飛ぶためのエネルギーになります。甘えるチャンスがないと思春期にガス欠になるかもしれません。ガス欠の人に、いくら「がんばれ」と言っても飛べません。小さい頃にしっかり甘えて、エネルギーを蓄えておくことが重要だそう。



オンラインの様子

甘えられる空間には「評価」がない

自然の遊びがまさしくそうです。どろ遊びや砂遊びは人とのスキンシップに似た安心感を与えてくれるとのこと。「良い子」「悪い子」などの評価がない自然の中での遊びで、子どもの心が満たされる時間が増えるといいですね。

質疑・応答

Q 自然観察会では、枝を持って木を叩いたりする子がいるが、どんな理由があるのでしょうか?

A ガス欠なのか、しつけの問題なのか、発達に特性があるのか、見立てが必要。特性があるなら、その子も親も悪くない。特性に沿った支援が大事。

Q 保育士をしています。心理学と遊びが結び付いてとてもハッとさせられました。子どもたちにとって夢中になれるものを見つけてあげられるようにたくさん遊んでいきたいです!

A 専門職の人との出会いによって救われている子はいっぱいいる。出会いを大事にしてほしい。保育士にも甘えられる人、笑顔をくれる人がいる。



特別講座「身近な秋を見つけよう」(2020年10月25日)

気持のよい秋晴れの下、まもる一む福岡周辺で観察会を行いました。ゲストは日本野鳥の会 福岡支部の小野<sup>ひとし</sup>仁さん。ニックネームは「ジンさん」です。親子の「これな～に?」に、ジンさんが優しく答えてくださいました。



日本野鳥の会 福岡支部 小野 仁さん



まもる一む福岡を出発して、すぐの小さな芝生広場に生えていたヤマザクラに不思議な模様の葉っぱを見つけました。これはなんの跡だろう?水が通った跡かな?栄養が抜けた部分?と、子ども達。ジンさんが「これはジカキムシだよ。ハモグリバエの仲間が食べた跡」と答えます。葉っぱの薄いビニールのような表皮の下を食べているのだそう!



身近な場所でもみんなで探すと、こんなにたくさんの素敵な”秋”が見つかりました!

## ふくおかエコリサーチ 「カナブン?コガネムシ?どっち調査」(集計期間:2020年7月~8月)

2019年から、生きものの多様性についてみんなで考えるキッカケづくりとして、新たにスタートした市民参加型調査「ふくおかエコリサーチ」。今年のテーマは、「コガネムシの仲間」でした!

コガネムシの仲間かな?と思ったら、写真に、見つけた場所や感想などを添えて投稿してもらいました。投稿方法はFacebook、Twitter、メールの3つです!**全部で102件**の投稿(福岡県外含む)をいただきました!種類までわからないものもありましたが、今回の調査では22種類のコガネムシの仲間を見つけることができました。参加者からは、「数十年前は沢山見かけていたのに、なかなか見つからなかった。虫が減っているのかな~?」といった声。近年、普通種と呼ばれていた種がいつのまにか希少種になっているというようなことがよく起こっています。本調査が、身近にいる小さな生きものたちの存在に目を向けるキッカケとなれば、嬉しいです!



### 「カナブン?コガネムシ?どっち調査」成果レポート

まもる一む福岡ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。  
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/m-room/index.html>



福岡市保健環境学習室

**まもる一む**福岡  
MAMOROOM FUKUOKA

〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-34

 092-831-0669

 FAX 092-831-0670

開館 10:00~17:00

休館日は月曜日・火曜日

(休日の場合はその直後の平日)

年末年始(12月28日~1月4日)

